

Gikai

Kamifurano

第118号

2023年4月25日

発行

かみふるの 議会だより

令和5年度執行方針

町長・教育長の政策にせまる!!

3月定例会 7名の一般質問

泥流地帯映画化どうなる!? など

令和5年度予算特別委員会

注目事業はこれだ!!

議会懇談会

伝えたい私たちの声

賛否分かれ討論

**泥流地帯映画化で
大議論**



今号の表紙写真 建築士会の方々

町づくり (建築) は

我らが担う!!

議会懇談会はどうでした？

水島 雅夫さん
上富良野町
老人クラブ連合会
会長



私たちは一般的に高齢者と呼ばれている年代であり、若いころに比べると体力低下は確かに感じられますが、同年代で働いておられる方も多数見受けられ、はて、自分たちは何歳からが高齢者なのだろうと思っております。

私たちの年代からのモチリゼーションの発達や近年のインターネットの普及が進む中で、特に若い人の働く場が少ないことから町内人口の減少傾向となり、以前から知恵を絞られています。明確な解決にはいたっていないのが現状と思います。テレビ番組のイイジューで成功例を放映していますが、若い人を求めるだけでなく、多くのおじさん・おばさんも含めた住みやすい暮らしやすい思い切った方策も必要ではないでしょうか。

町の懸案事項やこの時期特有の除排雪などについても、議員諸氏の考えや取り組み方など有意義に懇談させていただきました。

町の活性化についてこれからも議論を重ねられ、よりよい町づくりを進めていただきたいと念じています。

懇談会を企画していただきありがとうございました。

“私たちも伝えたい”

私たちの町のこと”
議会懇談会

紙面報告

十勝岳連峰の景観

減災・防災

東中地区の気球風景

町づくりフォーラム

十勝岳

十勝岳



佐川 泰正さん
建築士会 会員



土田 浩貴さん
建築士会 会員



黄田 信行さん
建築士会 会員



持安 弘行さん
大町積年会



仙波 恵美子さん
みやまち平輪会



大野 義則さん
丘町わかば会

※ご意見は一部を掲載しております。



Q 「上富良野町の好きなど」
ろはどこですか？」
参加してくれた各団体が
58名の方に伺いました。

令和5年1月31日に議会懇談会を開催しました。今回も昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症予防の観点から町内団体の皆様（上富良野町老人クラブ連合会・北海道建築士会上富良野支部）と共に、それぞれのまちづくりの課題、困っていること、悩んでいることなど各団体が抱えている課題について懇談が行われました。

上富良野町老人クラブ連合会

・除雪を終えた後に、大きな雪の塊を置いていかれてる。高齢者の為に対応をお願いしたい。
・高齢者の運転免許証の返納について、申請手続き等町広報誌に掲載したい。また、予約型乗合タクシーの利用方法についても同様をお願いする。
・泥流地帯の映画は作ることが目的ではなく、町を活性化させることが目的だと思う。
・町民と一体となって映画を作り上げることが大事である。
・高齢の母を介護しているが、デイサービスやおむつ代などにお金が必要。毎日洗濯などに追われ葛藤している。

北海道建築士会上富良野支部

・町には1級建築士がたくさんいるので、町発注の設計業務にも参加することができないか？
・建築士として実際の仕事にかかるとのガリフォーム資金。上限20万円だが、100万円にした時の財源はどうなる？予算措置をしてもいい。
・当麻町や中富良野町など他町村のようにリフォーム補助の施策を町・議会をあげて実現してほしい。
・町立病院などのインフラ整備は必要だが、地元の建設会社としては公営住宅や省エネ対策、断熱性能を高め見栄えのするデザインのリフォームを建築していきたいと考えている。町は、このような建物を建築するための長期的な計画、ビジョンの整備を進めてほしい。

初めての懇談会でしたが活発な意見交換ができました。建築士から見たまちづくりの要望、また、まちづくり計画書が作ってあるのに実行できないのはなぜか？脱炭素、低炭素に向けた省エネ性能を有する住宅・リフォーム工場の支援事業を使いやすく、上限を上げる施策の要望などたくさんありました。

北海道建築士会上富良野支部は、江花通り植栽事業やセントラルプラザ横のイルミネーション事業などボランティア活動を通して町での認知度を上げて、なくてはならない建築士会を目指し、これからも活動に取り組んでいきたいと思っております。

今回、発言しやすい懇談会を開催していただきありがとうございました。

建名 康則さん
北海道建築士会
上富良野支部 支部長



執行方針概要

町立病院の建て替え、新子どもセンターの建設など大きな公共投資もある中で、活力あるまちづくりと自治体経営の安定化の両立を図っていく。

Q. 斉藤町長が考える令和5年度の基本姿勢や主要施策は一体なのか。



荒生議員

A. 町長 従来から継続してやらなければならないこともあるが、主要施策となる新子どもセンター建設や病院改築は持続可能なまちづくりを進めていく上で重要な施策だと考えている。

執行方針概要

十勝岳噴火総合防災訓練は関係機関との連携強化を図るとともに、地域住民や事業所の協力を得ながら実践に即した訓練を実施していく。



今村議員

Q. 前回の十勝岳噴火から35年が経過し、非常に充実した防災訓練をしているが、令和5年度の実動訓練の考えは。

A. 町長 実際の避難訓練に参加できない方もいて、参加率が年々落ちてきているので、訓練というよりも啓発に近いと思うが、災害に備えて町民の意識向上は十分図っていかなければならないと考えている。

執行方針概要

クリーンセンターは供用開始から23年が経過し、経年劣化による故障等が顕在化している。本年度は焼却炉の補修工事を実施する。

Q. クリーンセンターの施設が古くなってきているが、今後、広域で建て替えるのか単独でやるのか、町長の考えは。



北條議員

A. 町長 クリーンセンターの次の5年間の計画はもう立っており、今まで通りの枠組みでやるが、その後はどのような枠組みがいいのか、人口減や処理量問題も含めて検討することになっていく。まだ結論は出していない。

執行方針概要

葬斎場は48年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでおり、中富良野町と将来の火葬場の共同利用の検討を進めていく。



小田島議員

Q. 火葬場の廃止または建て替えとなると町民の理解が非常に大事になるが、どのようなスケジュールで町民の意見をきいて検討するのか。

A. 町長 町民の理解ももちろん必要で、単独で建てるとかなりの経費負担があるので、今のところ中富良野町との共同利用を考えていると住民会長会議で昨年から説明している。令和8年までにははっきり決めたいと思う。

火葬場

クリーンセンター

防災

町政全般



町政・教育執行



方針にせまる！！

教育

福祉

少子化対策

農業

執行方針概要

特産農作物は農家戸数の減少や高齢化による労働力不足への対応として、将来就農を目指す地域おこし協力隊員を採用し、農業生産の維持、拡大につなげていく。

Q. 高収益作物の農地面積が減ってきている。今年は地域おこし協力隊を採用することで、高収益作物の面積維持拡大を図ることだが、本当にできるのか。



中瀬議員

A. 町長 令和5年から地域おこし協力隊を募集して高収益作物、特にラベンダー・ホップ・しそ・メロンは面積が減っている。なので協力隊に助けをもらうということは、方法の一つだと思っている。

執行方針概要

安全に安心して子どもを産み、育て、次世代を担う子どもが健やかに育つことができるよう支援策を充実していく。



小林議員

Q. 上富良野町の子育て支援はとても質の高い住民サービスを提供しているが、一方で出生数は減少の一途をたどっている。少子化にかかわる人口減少に対してどのように取り組んでいくつもりか。

A. 町長 子育て支援によって出生率の問題や人口減少、移住促進など、いろいろな面があると思うため、子育て支援策はトータルで推進していかなければならない。

執行方針概要

高齢者・障がい者・児童福祉の推進と地域福祉の向上に取り組むとともに、複雑化・複合化した困難な課題に対応するための重層的支援体制整備を検討していく。

Q. 高齢化社会で、コロナ禍、物価高で生活は大変な状況になっている。生活を維持することが困難で、支えが必要かと思うが、重層化の支えというのはどのようなことか。



米沢議員

A. 町長 電気代、灯油代が高くなってきて非常に暮らしが大変だということは認識している。臨機応変に状況の変化に対応していきたい。高齢化、地域福祉の重層化というのは、自助、共助、公助、これが重層化と考えている。

執行方針概要

令和4年度の全国学力・学習状況調査では小学校、中学校ともに全国平均を下回った。個に応じた指導の充実を図る。



元井議員

Q. 学力が全国平均を下回り低下しているが、教職員の働き方改革、超過勤務の実態がある中でどのような学力向上の取り組みを行うのか。

A. 教育長 上富良野町は家庭内学習の時間と読書の時間が少なく、ゲームの時間は長い実態がある。1人1台タブレットが学校には配置しており、このタブレットを自宅に持ち帰り家庭内学習を進めるよう調整している。

令和5年度の主要な新規事業など

【総務費】地域おこし協力隊管理費 3,308 万円 / 新総合行政システム改修 198 万円
 【民生費】安全対策事業補助（バス置き去り対策）50 万円 / 地域福祉計画策定 300 万円 / 発達支援相談業務用車両 281 万円 / 子ども計画策定 563 万円 / 泥流地帯映画化事業 493 万円（修正案により 100 万円減額し 93 万円） / ハザードマップブック作成 340 万円
 【衛生費】産婦健康診査 65 万円 / クリーンセンター資源化設備、電動機修繕 990 万円 / B系一次燃焼室耐火材更新 2,300 万円
 【農林業費】特産農作物支援 493 万円
 【商工費】吹上温泉屋根修繕 724 万円 / 観光諸行事 780 万円（うちラベンダーフェスタ 600 万円）
 【土木費】泉町南団地5号棟建設 2 億 4,865 万円 / 局部路面補修 450 万円 / 住宅改修費助成 980 万円（うち空き家の解体助成 150 万円）
 【教育費】教育支援センター設置 722 万円 / 上小パイラー更新 4,723 万円 / 十勝岳ジオパーク拠点施設（郷土館）改修 516 万円 / パークゴルフ場改修等 823 万円 / 社会教育総合センター施設管理用備品 313 万円
 ※千円単位は四捨五入で表記

 <p>荒生博一議員</p>	<p>①泥流地帯の映画化プロジェクト ②教育支援センター設置 ③ジオパーク拠点施設改修</p>	<p>制作会社を現在選定中とのことだが、問い合わせの段階で泥流地帯映画化を進める会に予算を入れるのはおかしいと考える。本来、制作会社等が決定してからの予算化ではないのか。</p>
 <p>佐藤大輔議員</p>	<p>①地域おこし協力隊 ②ラベンダーフェスタ ③パークゴルフ場改修等事業</p>	<p>地域おこし協力隊の優れた見識が新規イベントや既存イベントに付加価値を付け、交流人口の増加に繋がるか。また、パークゴルフ場再生計画（5 年計画）が始まるが、利用者の満足を得られるか。</p>
 <p>今村辰義議員</p>	<p>①泥流地帯映画化事業 ②町立病院の改築 ③十勝岳総合防災訓練</p>	<p>泥流地帯映画化については、初心を忘れず町長のやる気がある限り賛同したい。また、各事業の着意事項として、最小の経費で最大の効果を上げるようにそして、いかに町民の福祉の増進を図れるかにかけたい。</p>
 <p>小林啓太議員</p>	<p>①少子化対策関連事業 ②住宅改修費補助 ③新規就農・農業後継者対策</p>	<p>将来に渡り、高齢者の生活を支えていく上でも、少子化対策は喫緊の課題。また、町の基幹産業である農業を強くしていくためにも、新たな農業人材を育てていくことが重要。空き家対策にも期待。</p>
 <p>小田島久尚議員</p>	<p>①観光諸行事予算増額 ②火葬場の将来明記 ③空き家の解体助成</p>	<p>観光諸行事予算が増額。コロナ前、いや、日の出公園に駐車場があったあの頃の賑わいに期待。火葬場の将来、中富の火葬場を共同利用することを検討。建替えか共同利用か今後に注目。</p>
 <p>岡本康裕議員</p>	<p>①教育支援センター設置 ②防災ハザードマップの更新 ③地域おこし協力隊</p>	<p>観光振興において、夏、冬のイベントで取り組みの動きがみられるが、今後の予算配分に注目する。また、アフターコロナ後の商工振興に注目。</p>

令和5年度 予算特別委員会

あなたの注目事業は？

新年度の注目事業はこれだ！

期待どおりの成果が見込めるがしっかり検証！！

それぞれの議員に、新年度の予算特別委員会で特に注目する3つの事業とポイントを聞きました。

<p>『議会だより』をいつも御愛読頂きましてありがとうございます。令和5年度の予算が計上され、それに対し各々の議員が特に注視すべきテーマを3つずつ上げさせて頂きました。議員全員でしっかり審議し、皆様方にこの予算が良い波及効果をもたらし、安心して暮らしていける生活を守って参ります。引き続き御愛読のほどよろしくお願いたします！！</p>	<p>議長 村上和子</p> 	
<p>増加している不登校の子ども達の居場所、相談窓口が公民館の2階に開設されることは、かみふの未来につながる事業であり、すべての子どもが安心して住み、学べる環境となることを願う。</p>	<p>①教育支援センター設置 ②パークゴルフ場改修等事業 ③ラベンダーフェスタ</p>	<p>元井晴奈議員</p> 
<p>パークゴルフ場芝生改修によりどの程度使用できなくなるのか。空き家解体補助の不良度の基準は誰がどの様に行うのか。映画化を進める会の今年度の負担金、使用目的は？</p>	<p>①パークゴルフ場改修等事業 ②住宅改修費補助 ③映画化を進める会負担</p>	<p>北條隆男議員</p> 
<p>教育支援センターでは、教育アドバイザー、教育支援員、教育支援相談員が常駐し、不登校児童の学習、体験学習、生活習慣の改善指導をまた、進路就学の相談を受けられる。成果を期待したい。</p>	<p>①教育支援センター設置 ②特産農作物支援業務 ③パークゴルフ場改修等事業</p>	<p>高松克年議員</p> 
<p>地域おこし協力隊を有効に活用して町づくりを。ジオパーク拠点施設が郷土館で良いのか。不登校生徒と家族の支援が充分できるか。</p>	<p>①地域おこし協力隊（特産物支援） ②ジオパーク拠点施設改修 ③教育支援センター設置</p>	<p>中瀬実議員</p> 
<p>人口減少は避けて通れない。具体的な取り組みを着実に進めなければならない。将来の町の姿を町民とともに描くことが必要。</p>	<p>①人口減少対策と自衛隊 ②高齢社会に即した除排雪 ③老朽化した公共施設整備</p>	<p>中澤良隆議員</p> 
<p>不登校児童生徒が増える傾向にあり支援の充実。物価高騰や担い手不足などから農業を守る政策が必要。</p>	<p>①教育支援センター設置 ②公営住宅整備 ③農業政策</p>	<p>米沢義英議員</p> 

R5年度予算を

質問

攻め

4日間に及ぶ新年度予算の質疑では、議員から町のあらゆる事業に対して質問が飛び交いました。限られた予算が適正に計画、執行されるよう議論を尽くしたその先に辿り着いた答えとは…。ここでは質疑の一部をご紹介します。

「よそ者」の力を町の活力に！ 地域おこし協力隊の募集が拡充！

観光・地域振興・ジオパーク・教育支援分野

- Q すでに採用が決まっている件に関しては何件の応募に対して何件の採用になったのか？
- A 現時点では合計5件の応募に対して、3件の採用が決まっている。
- Q 再募集をかけるにあたって募集方法に手は加えたのか？
- A 前回と同じ内容で募集をかけている。
- Q 多くの応募があった方が質の高い採用ができると聞いているが、採用時に重視しているポイントはなにか。
- A 上富良野町に来る目的や希望、意気込みなどを重視している。

農業分野

- Q 特産農作物支援とはどのような事業か？
- A 地域おこし協力隊の制度を活用し、ラベンダー、ホップ、メロン、青じその生産者を支援しつつ、協力隊員にもそれらの作物の作付けを前提に新規就農者となってもらおうとする事業。現場で実体験を積みつつ、町の農業のPRなどにも携わってもらおうと考えている。
- Q その4つの作物はそれだけでやっていくのが難しいものもあると思うが？
- A 必ずしもその作物しか作るということではない。また3年間の研修期間の中で営農のスタイルを見出してほしいと考えている。
- Q 3年を経た後にすぐ認定農業者となれるのか？
- A 農作業時間等の必要条件さえ満たしていればなれる。
- Q 受け入れる農家の方は、通常の新規就農者との違いは理解されているか？
- A 応募があった後に、隊員・受け入れ農家・町の三者でしっかりと話し合いをする。

繁忙期の人の確保を

過疎地での農作業の人手不足に対応するため、遠方からの農作業ヘルパーの宿泊先を町ぐるみで整備することを提案します。地域活性化にも繋がると思うので、ぜひ推進をお願いします。

まちの声



Uターンして新規就農した
蛇岩真一さん

認定から1年、真価が問われる ジオパークのこれからの計画は？

- Q 令和5年度は郷土館の中にジオパークの拠点施設を整備していく計画だが、ジオパークの解説などの人員や管理の方針は？
- A 思いとしては冬期間も開館したいとは考えているが、人員体制などについてはまだ協議が進んでいない。
- Q (社会教育施設である)郷土館にジオパークの機能も持たせるのであれば、管理もこれまで郷土館を管理していた体制で行っていくのか？
- A 基本的にはジオパーク推進協議会だが、ジオガイドやジオサポーター、また郷土をさぐる会の皆さんとも相談しながら進めていきたい。
- Q 解説看板の設置などの5年度の計画は？
- A 新たな設置と既存の更新が2点。ジオサイトやビュースポットを増やすにあたっては看板もその都度設置していきたいが、国立公園の中ということもあり、調整には協議が必要。
- Q ジオ認定野菜を指すという話に関して？
- A 今のところまだ認定に関しては進んでいない。
- Q 美瑛町との共同で行うイベントなどに関して？
- A ジオカフェや講演会などの企画を考えている。



ジオパークの拠点施設となる郷土館

移住して魅了されました

4年前に上富良野に移住してきて、十勝岳に魅了されジオパークフォトコンテストにも応募し入選しました。郷土館がジオパークや十勝岳の魅力をいろいろな人に知ってもらえる施設となるといいなと思います。

まちの声



学校給食センター運営委員
平井葉月さん

定着してきたラベンダーフェスタ 夏の一大イベントはいかに！？

- Q 5年度は600万円の予算が計上されているがその内訳は？
- A コロナも終息に向かってきているので、屋間に町内外の皆様楽しんでいただけるイベントを行いたいと考えている。イベント系に250万、花火などの経費に230万、会場費に70万、PR費に35万などを想定している。
- Q 昨年と同じく10日間くらいのロングランイベントか？
- A ラベンダーのライトアップがとても集客力があるので、可能な限り長い期間開催したいと考えている。
- Q 観光客からは駐車場の料金を取った方がいいのではという町民の声もあるが？
- A 現在のところ駐車料金を取るということには考えていない。

物価高騰でも予約型乗り合い タクシートの料金は大丈夫？

- Q 乗り合いタクシートの委託費が昨年と同額になっている。燃料費の高騰などは反映しているのか？
- A 現段階では従来の契約をもとに試算しているが、今後タクシー協会の状況などを聞いて、不足が生じる様であればその際に検討する。
- Q 郡部からの料金を下げてという声もあるが、今年度の計画は？
- A 現状は通常単価の20%ほどで計算している。以前とったアンケートでも料金には大多数が満足しているとの回答もあり、今年度において料金改定の考えはない。
- Q たとえ片道200円の差であっても高齢者の生活も厳しさを増してきている。料金の公平性を保ち、同じ金額にすることも大切だと思いませんか？
- A 社会情勢も日々変わってきているので、一度決めたからということではなく、負担のあり方については常にアンテナを張っていききたい。
- Q 乗り合いタクシートの委託料の財源は全て一般財源か(事業費862万円)？
- A 基地調整交付金のソフト事業から500万円を充てている。



上富良野町パークゴルフ場の 芝生が十分に張り替え！？

- Q パークゴルフ場の管理については利用者とコミュニケーションをとっているか？
- A 利用している3つの協会や愛好会の代表の方とは意見交換をしている。また利用者アンケートにおいて芝の改修の強い意見も頂いており今年度整備予定である。
- Q 早期のオープンを望む声も多いが？
- A この度管理において最も大切なのは芝の養生であるという基本に立ち返った。芝の整備にあたっては利用者にはご不便もかけるが、ご理解いただきたい。
- Q ラベンダーコースは1年間使えないのか？
- A 4種類の施工をそれぞれ2日間程度行う予定で、作業中の数日間はコースには入れなくなるが、それ以外の日は入れるようになる予定。



上富良野町パークゴルフ場

公衆Wi-Fiの拡充は！？

- Q 新年度の計画は？
- A 予算はとっていないが、既に機器はあるのでやれる範囲でやる。特に学校は重要。
- Q 公民館や社教センターのホールにもあると利便性が上がると思いませんか？
- A ホールは大規模な工事が必要になってくる。図書館の中や今後設置される教育支援センター内などは充実に図っていく予定。

「泥流地帯」の映画化事業は どうなっているのー？



Q 泥流地帯の映画化を進める会（以下進める会）に対して、負担という形で100万円の予算が計上されているが、その内容は？

A 会の運営上のイベントや機運醸成といった活動に対する予算。

Q 進める会の予算の中には旅費が計画されているのとは別に、泥流地帯映画化事業の予算内にも特別旅費（71万円）が計上されているが？

A 進める会の予算の方は、職員が行くこともあれば会長さんなどが協定に結び付いた際に使うことなどを想定している。特別旅費に関しては、町長が映画化そのもののPRであったり、ふるさと納税のPRに東京や札幌などに赴く経費として計上している。

Q 他の出張に合わせて関係機関を回るなどはできないのか？

A すでに様々な機会が調整しており可能な限り合わせたい。それに加えて町長自ら汗をかき協定や契約を結ぶという意思がある。

Q 進める会への負担金の100万円は、映画化が具体的に近づいてきてからでもいいのではないかと？

A 会の活動を途切れさせることなく取り組みにも当初予算に入れさせてもらった。

Q 新たな協定先を探そうと、上富良野の立場に立った専門家の意見なども取り入れていった方がいいのでは？

A 現在地域活性化起業者で来られている方が、映像制作にも精通している。また広く情報を集めながら進めていきたい。

Q 進める会は今まで機運醸成やロケのサポート、協定先を見つけてるのは町、と役割を明確にしたほうが分かりやすいのでは？

A 昨年の進める会の総会（Zipping社との連携協定の解除が報告された）で、町は会にもっと情報を共有しろとお叱りを受けた。もちろん最終的な責任は町にあるが、当時の反省をもとに、協定締結前からも意見交換をしていきたい。

解説

三浦綾子さん原作の小説「泥流地帯」の映画化に取り組む町は、これまで2度制作会社との協定解除に至っている。予算特別委員会開会中は次なる協定先を探している状況。進める会とは、主に町内での機運醸成などを目的に作られた町民有志の団体。今回令和5年度において、進める会への活動費100万円の負担金の支出（財源はふるさと納税によって積み立てられた基金）について多くの議員が疑問を感じている。



施設の老朽化で課題が山積！ どうなるというラベンダーハイツ

Q 施設整備に関して、以前の計画と変わってきているのか？

A 運営をしていく中で様々な問題が出てきたため優先順位が変わってきている。

Q 空調設備の整備が地下タンクの漏えいの修繕に代わっている。温暖化の影響もあり、空調も優先すべきと考えるが？

A もちろん大事であるが、暖房設備の修繕の方が緊急度が高い。

Q 町長は以前あと10年は建物をもたせたいと発言していたが？

A 大規模改修は難しいので、都度対応している。

Q 新しいラベンダーハイツを建設するべきでは？

A 将来どうあるべきかというのを、現状の状態も見極めながら早急にビジョンを考えていかなければならない。

職員さんには感謝

週に2回デイサービスを利用しています。皆さんとおしゃべりするのが楽しく、利用日が待ち遠しいです。最近、同じような施設で暴力のニュースを聞くことがあります。ラベンダーハイツの職員の方は、優しく親切に接してくれて本当に感謝しています。

まちの声



ラベンダーハイツ利用者 松田芳子さん

教育支援センターは学校にいけない生徒の安心できる居場所になれるか

Q 本年度の少子化対策で町長肝煎りの予算は？

A 教育支援センターの設置に向けて予算を計上している。

Q 教育支援センターの役割は？

A 学校になかなか行けない子どもたちが、安心して過ごせる学校以外の場所という意味合い。学校に戻すことが目的ではなく、人とのつながりを大事にする活動をしたり、学習をサポートし、安心して過ごすことで元気を取り戻してもらおう役割が強い。

Q 公民館の2階に設置予定だが、建物の改修などは？

A 基本的には既存の建物をそのまま利用し、現在の技術室を占有して利用する予定。

Q 開設のスケジュールは？

A 4月1日より動き出したとは思っているが、準備なども含め実際に受け入れられるのには2か月程度が必要と考えている。

教育支援センターに期待

子どもや親御さんはもちろん、先生たちも相談出来たり、子どもの教育について学びあえたり、携わる人たちが連携できる仕組みであることを期待しています。学校や学びについて悩んだとき、ここに行ってみよう、ここにあるから安心、と思えるようになったら良いなあ。

まちの声



不登校親の会MIT 広瀬美奈さん

公共交通に関する

Q JR旭川〜富良野の路線については廃止などの話は出ているのか？

A 今のところ出ていない。

Q 旭川十勝道路はいつ上富良野の方まで来る予定か？

A 国が主導しており詳細は分からない。重要な役割を持つ道路であるので、早期の実現を引き続き要望していく。

移住定住に関して

Q ホームページやSNS等の情報発信の体制は？

A 現在は主職員2名で更新を行っているが、今後は採用した協力隊員にも取り組んでもらう考え。

Q マッチング事業とはどのようなものか？

A 町内の宿泊事業者で就業体験してもらい、受け入れてもらった事業者手数料をお支払いする。

子どもセンターに関して

Q 専門員、指導員の確保は間に合っているか？

A 人材の流動性が高く、欠員になることもありますが、4月から全部そろったことになっていて、常に全員がそろった状況はなかなか難しい。



意見書

- 1、ジオパークの拠点施設である郷土資料館については、今後の管理、運営体制を明確にして進められたい。
- 2、地域おこし協力隊の活用については、隊員が任期中にその能力を十分に発揮され、定住に繋がるよう、各関係機関が制度の理解を深めると共に受け入れ体制の充実を図られたい。また、募集にあたっては、効果的な募集となるよう努められたい。
- 3、ラベンダーハイツの施設老朽化が進んでおり、長期的視野に立って、改修計画を立て適切な施設整備に努められたい。

予算特別委員会では、質疑の後二つのグループに分かれ、特に質疑の多かった事業についてなどの意見をまとめ、意見書を町長に提出しました。その意見書への所信を確認したのち、委員長を除く十一名の委員で新年度の予算案に対して賛否の評決を行います。今回はその際に予算に対して修正の動議が提出されました。 ※詳細は次のページに続く

議場が燃えた日

4日間に及ぶ新年度予算の質疑を経て採決の時、場内から「動議！」という声が高らかに上がった。元井晴奈議員から予算の一部修正を求める動議が提出され、質疑の末、賛成と反対に分かれて討論が行われた。討論には岡本委員長を除く全十一名の議員が参加する白熱したものと化した。争点は泥流地帯の映画化を進める会へ計上されている100万円の負担金。この負担金を無しとする修正案は賛成6、反対5で可決された。またその後、修正部分を除く他の全ての予算に関しては賛成8、反対3で可決された。



議論白熱

"私は修正案に反対します"

"私は修正案に賛成します"

賛成 北條隆男議員

妊娠、出産、子育て、教育、商業、農業、観光、それらに対して良くできてくる予算。決められた予算の中でこういう風に組んでくれることはありがたい。

反対 米沢義英議員

新年度予算について部分的に改善は見られるが、住民の暮らしを守るための予算が確保されていない。また泥流地帯の映画化政策から行政は身を引くべき。



米沢義英 議員

修正案が賛成多数で可決されたのち、修正部分を除く原案（進める会への負担金100万円以外の予算）に対する討論が行われ、採決が採られた結果、賛成8、反対3で可決しました。



今村辰義 議員

計画を100%求めるというのは間違っている。進める会への負担金が0になったら当事者はどう思うか。その結果映画化が頓挫したら町は多大な損失を被る。

佐藤大輔 議員



予算を修正するには論拠が不十分。いたずらに予算を修正することは映画化を目指す町のイメージダウンを招き、職員の挑戦する意欲を奪い、町の大きな損失となる。

小林啓太 議員



泥流地帯の映画化は、町民と共に進めることに意味のある事業なのに、予算を取り上げるのは矛盾している。予算の審議は議員の責務だが、過干渉は自立の芽を摘む。

小田島久尚 議員



修正案は映画化の中止を求めるものではないということだが、映画化を進める上では、会の役割は非常に重要。修正案は会の活動を否定していると受け止められかねない。



荒生博一 議員
(動議賛成者)

これまで協定解除に至った問題点が十分に検証されていない中で、進める会に対する100万円の負担金の支出は拙速である。協定先が決まってから補正すべき。



中澤良隆 議員

現状進める会は町が運営を主導している団体であり、負担金の在り方、会の意思がどこにあるのか疑問。100万円は映画制作者が決定してから予算化するべき。



高松克年 議員

情熱がなければ映画はできない。作ることも上映することも大変な時代において、本当に精査された計画が示されているかが問われる状況になってきている。

元井晴奈 議員
(動議提出者)



進める会の活動内容、活動費用の積算根拠が不明確。進める会と共に計画を見直し、協議した上で再度提案すべき。映画化事業そのものを否定するものではない。



中瀬実 議員

これまで協定が解除に至った原因をきちんと分析し、二度と同じことを繰り返さないよう慎重に進めるべき。予算が必要な際は十分な事業計画を示してほしい。



北條隆男 議員

進める会に旅費を出すということは進める会にも責任を持たせることになり、それは行政としてはやってはいけないこと。行政が主体となってやるもの。

結局どうなったの!?
泥流地帯の映画化を進める会への負担金100万円は、令和5年度の当初予算においては認められませんでした。ただ、映画化事業そのものが否定されたわけではなく、今後もし町が必要と考えた際は、補正予算として再度議会に諮られることとなります。
討論に全ての議員が参加することは全国的にも珍しく、それぞれの立場と意見を表明したことも白熱した議論となりました。当日傍聴された町民の方々からも、とても見応えがあったとの声を頂きました。

第1回臨時会、第2回臨時会、3月定例会 審議議案と議員の賛否

上程議案・結果	結果	元井晴奈	北條隆男	高松克年	中瀬美	中澤良隆	米沢義英	荒生博一	佐藤大輔	今村辰義	小林啓太	小田島久尚	岡本康裕	村上和子
【可決】…原案可決、承認可決、同意可決 【否決】…原案否決 【付託】…各委員会への付託 【修正】…														
第1回臨時会（令和5年1月31日）														
令和4年度上富良野町一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について（ラベンダー・ハイツ介護ロボット購入）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
南部地区土砂流出対策工事（ベベルイ川）（R4国債）請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上富良野町防災行政無線デジタル化整備工事請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1回定例会（令和5年3月2日～15日）														
令和5年度上富良野町一般会計予算	修正													
議案第1号 令和5年度上富良野町一般会計予算に対する修正案（修正動議）	可決	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○
上富良野町公共施設整備基金の一部支消について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
十勝岳と共生するまちづくり応援基金の一部支消について	修正													
十勝岳と共生するまちづくり応援基金の一部支消についてに対する修正案（修正動議）	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
令和5年度上富良野町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度上富良野町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度上富良野町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度上富良野町ラベンダー・ハイツ事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度上富良野町簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度上富良野町公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度上富良野町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度上富良野町病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算特別委員会付託	可決	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○
令和4年度上富良野町一般会計補正予算（第9号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度上富良野町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度上富良野町介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度上富良野町ラベンダー・ハイツ事業特別会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度上富良野町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度上富良野町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度上富良野町水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度上富良野町病院事業会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上富良野町個人情報の保護に関する法律施行条例	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
上富良野町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上富良野町病院事業の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新子どもセンター建設工事（建築主体工事）請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新子どもセンター建設工事（電気設備工事）請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新子どもセンター建設工事（機械設備工事）請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度上富良野町一般会計補正予算（第10号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長の専決事項の指定について（上富良野町税条例等の一部を改正する条例）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長の専決事項の指定について（上富良野町国民健康保険条例の一部を改正する条例）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上富良野町議会個人情報保護条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2回臨時会（令和5年3月27日）														
令和4年度上富良野町一般会計補正予算（第11号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上富良野町西小学校校舎防音機能復旧工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

※賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します。

定例会

第1回定例会では、直近3ヶ月の行政報告、各種補正予算、4件の条例改正、令和5年度予算の概要説明、町長と教育長による執行方針など、多くの議案が議論されました。

行政報告では、十勝岳噴火総合防災訓練について、各種補正予算については主に事業費の確定による補正や、繰越明許費（翌年に事業が跨るため翌年度に繰り越して使用できるようにする）の設定などが行われました。

他には議員派遣結果報告（「富良野沿線市町村議会議員研修会」と「議会懇談会」）も行われました。

臨時会

臨時会に提出された主な議案は、

- ・ 農業者の負担軽減を図る為に肥料価格高騰対策事業として肥料1トン当たり3千125円を助成し、事業確定により260万6千円減額。
- ・ 前年度より多い降雪量により、早い時期から除雪、排雪への出勤が多くなり費用負担が多くなった分の補正8千100万円（第1回臨時会）・2千640万円（第2回臨時会）などです。質疑の後、採決の結果全ての議案が可決されました。



議会 Pickup

臨時会・3月定例会の概要

町議会では、第1回臨時会が1月31日、第2回臨時会が3月27日、第1回定例会が3月2日から15日まで、予算特別委員会が3月9日から14日の会期で開かれました。

臨時会では、補正予算の議案が中心となり、いずれの議案も可決されました。定例会や予算特別委員会は、7名の議員が一般質問を行い、令和5年度予算及び基金の一部支消の審議については、予算特別委員会に付託され、審議となりました。その中で、一般会計予算については修正案が提出され、濃厚な討論の末、定例会の最終日に一般会計の一部修正が含まれた予算案が可決されました。その他、意見書や補正予算、条例改正等を審議し原案のとおり可決されました。

条例

第1回定例会において上程された4件の条例の制定及び改正の主な内容は、

- ① 個人情報の保護に関する法律の施行条例の制定と、② それに伴う関係条例の整備
- ③ 出産育児一時金等の支給額の見直しに伴う、国民健康保険条例の一部改正
- ④ 町立病院の循環器内科の廃止に伴う条例の一部改正です。また①②に伴い、町議会における個人情報の保護に係る条例を検討し、個人の権利利益を保護するための条例制定が発議され、原案のとおり可決されました。このことにより、町議会が保有する個人情報についての個人の権利が明らかにされ、今後の議会の事務の適正かつ円滑な運営が期待されます。

富良野広域連合議会 第1回定例会

令和5年第1回富良野広域連合議会定例会が2月15日に開催され、連合長から行政執行方針が述べられたほか、補正予算案、新年度予算案、条例等の改正が原案のとおり可決されました。

令和5年度一般会計予算は、歳入歳出総額をそれぞれ23億6千422万5千円（前年度比1億3千38万8千円減）となりました。

議会を傍聴してみませんか？

次の定例会の開会予定は…

6月13日（火）14日（水）です

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

泥流地帯
映画化

映画制作で町が負担する上限額は

町長 - 寄附金から2億円 町の財源は使わない

つぶやき...

映画化プロジェクトが中止になったと誤解をしている方が多い。町民に対して丁寧な説明がほしいが...



佐藤 大輔 議員

佐藤議員 現時点において何年後の公開を目指しているか。

音藤町長 一日も早い公開を切望している。

佐藤議員 泥流災害から100年、作品「泥流地帯」発表から50年、2つの節目が重なる2026年の公開を目指すべきでは。

音藤町長 2026年が意義深い年であることは認識しているが、協定先が未定であるため、今は言及を避けたい。

佐藤議員 町長にとって映画化における一番の目的は。

音藤町長 作品「泥流地帯」を通して、泥流災害の犠牲者と、その遺族血のにじむような努力で2度目の開拓を果たした

先人たちの思いや魂を引き継ぎ、後世に継承することである。

佐藤議員 新たに制作を委ねる会社などは概ね決まっているのか。

音藤町長 複数の企業や個人と相談しており、い



泥流地帯の感想を述べ合う「みんなの読書会」参加者

ずれも好感を得ているが、まだ具体的な協定の内容にまでは踏み込んでいない。

佐藤議員 町が映画制作費に拠出する上限額は。

音藤町長 ふるさと納税による資金調達目標を

2億円としている。寄附金以外は使わない。また、2億円はあくまでも目標であり集まらない可能性もある。

佐藤議員 仮に映画化を断念した場合の損失は。

音藤町長 三浦綾子文学ファン、寄附者（企業・個人）に対する説明と謝罪、寄附金の返還、税務署との協議、既に返礼品を受け取っている方の対応、損害の補填など、職員は年単位で業務にあたる必要がある。また、ふるさと納税全般において、町の信頼を損なうだろう。

佐藤議員 今や自宅映画を楽しむ時代を迎えている。今後、テレビドラマやインターネット配信サービスなどの媒体にシ

フトする可能性はあるか。

音藤町長 実写映画化を前提としたふるさと納税のPRや募集を行っているため、寄附者への配慮が必要。劇場公開後に、別の媒体で公開することは可能であり、協議を進めている。

佐藤議員 目標とする公開年を明確にし、具体的な推進プランを示すなどして、我々の不安を吹き飛ばして欲しいが。

音藤町長 就任後、常に前向きに進めてきた。3回目は必ず成功させる。エンターテインメントの世界は難しいが、全力で取り組むので、町民一丸となって応援してほしい。

ひとくちメモ

インターネット配信サービスとは...オンライン上で国内外の映画・ドラマ・アニメなどの動画を見られるサービスのこと。スマホ、テレビ、パソコンなど様々なデバイスで視聴可能。

上富良野のここが聞きたい!!

7名の議員が町政を問う

一般質問とは、年4回の定例会において議員が住民の声や自身の考えなどにより、町政全般にわたって執行者の考えをたずねるものです。

議会日よりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。

詳細は後日、行政ホームページに会議録を掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができます。ぜひ、議場へお越しください。

 <p>高松 克年 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域農業再生協議会水田収益強化ビジョンについて ② 除排雪の対応について 	 <p>佐藤 大輔 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「泥流地帯」映画化プロジェクトについて
 <p>米沢 義英 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 農業支援について ② 物価高騰から暮らしを守る対策について ③ 子育て支援策について ④ 学校給食費の無償化について 	 <p>元井 晴奈 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 町立病院の電子化について ② 泥流地帯映画化について
 <p>荒生 博一 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 泥流地帯映画化プロジェクトについて 	 <p>小林 啓太 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 除排雪について ② ふるさと納税について
<p>ひとくちメモ</p> <p>一般質問のページは質問議員本人により編集されています。</p>	 <p>中瀬 実 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ゼロカーボン対策について ② 生活排水対策について

除排雪

不満の声は町長自身にも届いているか

町長—少なからず耳にしている

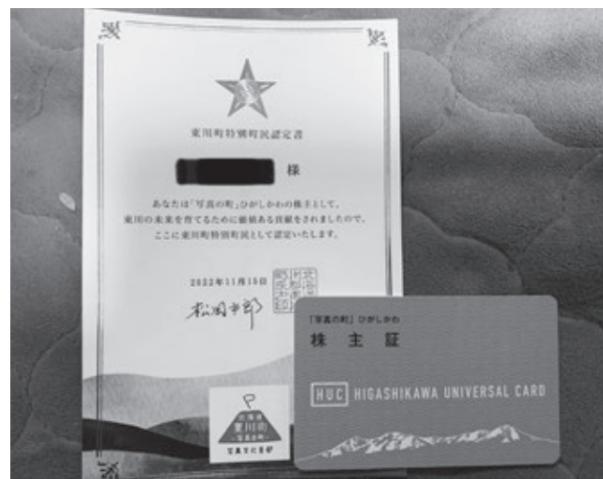
つぶやき... 毎年多くのふるさと納税を頂いているが、住民生活に実感がなく、税金が負担になっている。使い方を望むが、

小林議員 車道除雪後、玄関先の間にたまる雪の除雪は、住民と町のどちらの負担が原則か。 齊藤町長 住民側の負担が原則だが、程度を超える雪の場合は町側でもなんとかならないとは思っている。 小林議員 原則的に住民が負担するべきものと町のスタンスが、住民に伝わっていないのではないかと。課題の解決にあたっては自助、共助が基本であると考えているのか。 齊藤町長 少しでも町としては解決してあげたいが、公助のみならず町民の力を借りることも必要であると考えている。



小林 啓太 議員

雪サービスを行っているがサービス拡充の考えは。 齊藤町長 一定程度収入のある方は、民間等の事業者をご利用頂きたい。 小林議員 民間業者も人手不足である現状を聞いて、町として除雪を行う



東川では納税者を株主と呼び、町内で様々なサービスが受けられる

ふるさと納税の寄付金はどのように使っているのか。 小林議員 令和4年度に受け取った寄附金を新年度ではどのように活用するのか。 齊藤町長 1億5千413万円程度を寄附者の意向に沿った目的基金に積み立てて、令和5年度の財源として具体的には、高齢者・障害者の福祉の推進や健康増進、児童の健全育成のための環境整備、シオパークの拠点施設整備、ラベンダーフェスタへの負担金などに6千300万円充当している。 小林議員 差額は、基金に残しておく。 齊藤町長 将来のために基金に残しておく。 小林議員 既存事業への充当がほとんどだが、寄附金は住民福祉の向上にプラスになっているのか。 佐藤副町長 寄附者の意向に沿って充当することによって、貯金をする余裕を生んでいる面もある。全体を調整しながら、貴重な寄附金を有効に活用していきたい。 小林議員 現状はお祝いでもらったお金を貯金して生活費に充てる様な使い方をしており、寄附者と町民双方にとってその価値が分かりづらい。双方にとって分かりやすい使い方を考えていく考えは。 齊藤町長 寄附金の使い道についての報告には努めていく。また寄附額が増えてくれば色々な使い道を考えていける。

ひとくちメモ

除雪サービスとは...「町民税非課税世帯で、自宅近くに近親者がいない独居、高齢者世帯、障がい者世帯等で、除雪が困難な方」が15分75円で利用できる町の事業。

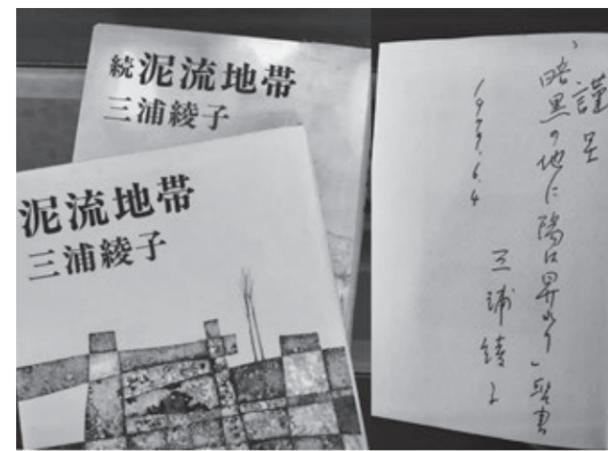
泥流地帯 映画化

映画化をゼロから見直すべきでは

町長—映画化実現に向けて着実に進めていく

つぶやき... なんのために映画化するのか。二度も実地できず、「泥流地帯」の映画を作っているように感じるが...

元井議員 「泥流地帯」映画化の目的、ビジョンを明確にして地域再生計画の見直しの検討は。 齊藤町長 2社目の協定は解約になったが、引き続き3社目ということで進んでおり、ビジョンは変えない。 元井議員 現状では「映画作り」が目的のように感じるが、映画化の目的は何か。何のために映画化するのか。 齊藤町長 三浦綾子先生の大作で上富良野が舞台で映画化されていない為、映画化するというのも一つの目的であるが、上富良野の郷土史でもあり、泥流被害を後世に語り継ぐ映像として残していく、郷土愛、観光、



「泥流地帯」での観光振興の手法は映画化だけなのか？

ケツリリズム等の目的を総合して映画化を進めていくという目的である。 元井議員 目的が地域再生計画にある十勝岳を軸とした観光振興ならば、映画にこだわることなく、道の駅など地域創生の手法はあるはずだが。 齊藤町長 映画化ということで寄付を募っているのでは、映画化を外すことにはなかなか難しい。映画化によって観光の一助になることは間違いないと思っている。



元井 晴奈 議員

ひとくちメモ

地域再生計画とは...地域経済の活性化や雇用機会の創生など地域の活力再生を推進するために国が認定する計画のこと。泥流地帯映画化プロジェクトも平成29年にこれに認定された。

新町立病院の電子化を。 元井議員 マイナンバーカード保険証と従来の保険証ではマイナンバーカード保険証を利用した方が安くなるが、町立病院でも対応できているのか。 齊藤町長 医療情報・システム基盤整備体制充実加算が新設され、マイナンバーカード保険証利用時6円、従来の保険証利用時に12円が加算されることとなっており、令和5年度当初より算定を予定している。 元井議員 4月からマイナンバーカード保険証を使った方が安くなるということを広報や防災無線で広く周知しないのか。 齊藤町長 オータリングシステム、電子カルテの導入については、新病院での円滑な診療が最優先とされており、導入は困難と判断している。 長岡町立病院事務局長 町立病院を受診する方も限られており、病院の窓口での案内を予定している。 元井議員 国ではデジタル庁で電子化を急速に進めている。新町立病院ではオーダリングシステム、電子カルテ等の電子化が必須であると考えている。 齊藤町長 オータリングシステム、電子カルテの導入については、新病院での円滑な診療が最優先とされており、導入は困難と判断している。



マイナンバーカード読み取り機械

泥流地帯
映画化

組織がないまま映画化が進むのか

町長－製作委員会を組織することが最大の難関である

つぶやき…

上富良野町の「泥流地帯映画化プロジェクト」においては、1社目の契約、2社目の契約いずれも失敗に終わっている。

荒生議員 本来、映画を作る際には「映画製作実行委員会」という組織を編成して、その組織がすべての運営を行い、物事を取り決めていくのが当然なのだが、これまでの間そのような組織は存在していません。組織が存在しないままの状態での様に映画化が進むのか。「映画化プロジェクト」の立ち上げ方について、町はどのように「映画化プロジェクト」というものを立ち上げていくのか、今まで関わった制作会社からプロの指導を受けた事があるのか。1社目と2社目から、どのような進め方で、「映画化プロジェクト」というものは立ち上げていくのか、

かという説明は、町側の「誰か」受けて「いつ」「どのよう」に理解して承っているのか。了承するにあたって町の判断は、何を参考に制作会社から受けた「映画化プロジェクト」の立ち上げ方についての整合性を確認したのか。町の職員だけで、専門分野のプロの指導について整合性の取れる判断ができるのか。制作会社とは別に専門的なアドバイザーを用意して、整合性の確認をしたのか。



実現を待ちわび色あせていくのぼり

これらすべての点において、これまでの町側の説明は矛盾しており、すべて曖昧のまま進められている事は明白であるが。
齊藤町長 民法上の任意組合である製作委員会の組成は、御指摘のとおり、昨今の映画制作の体系として主流であり、映画化の実働的な第一歩として極めて重要な過程であると承知している。一方、「泥流地帯映画化プロジェクト」は、三浦文学の代表作でありながら映画化がなされてこなかった映像化困難作品「泥流地帯」について、実写映画としての制作を実行的にスタートさせる、つまり複数のメディア事業関係者が出資し合い製作委員会を組織することこそ最大の難関であり、本町の泥流地帯映画化プロジェクトはこれまでの間に難関に挑み続けてきた。
荒生議員 いまだにスタートラインに立っていないということか。これまでの間、専門家により様々な制作アドバイスを受けてきたにも関わらず、スタートラインに立つ立ち方も教わっていなかったのか。
齊藤町長 通常は、製作実行委員会が立ち上がったから実質的なスタートなのだが、上富良野町の場合は「映画化プロジェクト」ということで、その前段階から製作委員会を立ち上げる段階が、最大の難関である。

ひとくちメモ

一般的に「映画化」とは、主として「段階取り」が揃い、「映画製作実行委員会」という組織が編成されて、世間に対して「この作品を映画にする事を発表できる時期が整った」という段階で使用される言葉である。

荒生 博一 議員



暮らし

物価高騰から暮らしを守る支援を

町長－町民に対する支援策を検討したい

つぶやき…

憲法第26条では義務教育はこれを無償にすると明記しています。給食費無償化の断が急がれます。

米沢議員 北海道においては、物価高騰の影響を受けている18歳以下の子育て世帯に対して商品券を支給するとの報道があった。町においても多くの町民の人たちが物価高騰の影響を受けている。帝国データバンクの調査では、3月も引き続き食品の値上げが約3千400品を超えるとの発表もある。光熱費の値上がりがあるなど、町民の間にも食品などの買い控えの動きがある。町においては、町民の暮らしを守るためにも、米など独自の支援策が必要では。
齊藤町長 原油価格やそれに伴うガソリン、灯油等の石油製品の価格高騰が続き、町民の生活はもとより、農業、建設業などの産業活動及び商工業者の経営に大きな影響が及んでいる。事業経営及び町民生活が大変厳しい状況にあることは十分把握している。



物価高で様々な業界が負担を強いられている

とより、農業、建設業などの産業活動及び商工業者の経営に大きな影響が及んでいる。事業経営及び町民生活が大変厳しい状況にあることは十分把握している。物価高騰により影響を



米沢 義英 議員

を受けている町民に対する支援策については、国の政策、動向を注視しながら、町独自の課題については、限られた財源を有効に活用しながら検討したい。
米沢議員 多くの自治体で学校給食費の無償化を求める声が高まっている。その背景には、学校で学ぶ子どもたちの教育費の保護者負担が家計に大きな負担となっていると考える。憲法では、教育費は無償化するとされているが、町は無償化にできない理由として、食材購入費は保護者負担すると規定されていると答弁をしているが、あくまでも基準を示したもので、学校給食費無償化の有無については自治体の判断でできると考えるが。
鈴木教育長 学校給食費無償化の有無については、学校給食法において食材の購入に要する費用は保護者負担と規定されていることから、給食費の全額を賄材料費のみに充てている。施設及び設備に要する経費並びに人件費など、学校給食費の運営に要する賄材料費以外の経費については設置者が負担をしている。現時点で給食費を無償化することとは考えていない。



ある日の上富良野の給食

ひとくちメモ

日銀の「生活意識に関するアンケート調査」では、物価が「かなり上がった」「少し上がった」と回答した個人の割合は94.3%に上昇したと発表。家計の負担感が強まっていることを示しています。

議会の窓



2月20日	厚生文教常任委員会 総務産建常任委員会 議会運営委員会
21日	議会運営委員会
22日	議会運営委員会、全員協議会、議
24日	会広報特別委員会
3月2日	第1回定例会(100目)
3日	第1回定例会(200目)
7日	第1回定例会(300目)
8日	第1回定例会(400目)
9日	予算特別委員会(100目)
10日	予算特別委員会(200目)
13日	予算特別委員会(300目)、全員協 議会
14日	予算特別委員会(400目)
15日	第1回定例会(500目)、議会広報 特別委員会
17日	全員協議会
4月10日	議会広報特別委員会
11日	厚生文教常任委員会
12日	議会運営委員会
13日	総務産建常任委員会
17日	議会広報特別委員会
20日	全員協議会、総務産建常任委員会

◆全国町村議会議長会より表彰

今村辰義議員が町議会議員として15年以上、地方自治の振興・発展に功労され、全国町村議会議長会会長より2月8日に表彰されました。



第37回町村議会広報全国コンクールにおいて、かみふらの議会だより第113号が企画・構成部門で奨励賞を受賞し全国町村議会議長会会長より2月8日に表彰されました。



◆富良野沿線市町村議会議長会議員研修会

12月20日に中富良野町で議員研修会が開催され、議員13名が参加しました。

北海道環境生活部ゼロカーボン推進局局長 甲元信宏氏による「ゼロカーボン北海道の実現に向けた取り組みについて」の講演を聴講しました。

編集後記

■WBCで侍ジャパンが優勝し日本中が歓喜に沸きました。最後まで諦めない姿に心打たれ躍動する選手に元氣と勇氣をもらいました。

■令和5年度のスタートに向けて、「泥流地帯映画化」に関連して激論あり、かみ合わない場面あり、修正ありの予算議会でした。予算、執行方針など大切な記事満載の今号、ぜひ精読よろしく願います。

■この度、このかみふらの議会だよりが町議会議報の全国コンクールにて奨励賞を受賞しました。わかりやすく、読みやすい、そして誰もが読みたくなるような紙面をこれからも作っていきます。

(元井 記)

議会広報特別委員会

委員長	小林 啓太
副委員長	元井 晴奈
委員	高松 克年
	中瀬 実
	小田島 久尚

発行／上富良野町議会

編集／議会広報特別委員会